

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

| | | | |
|-------|--|-----------------|----------------------------|
| 課題番号 | 19100007 | 研究期間 | 平成19年度～平成23年度 |
| 研究課題名 | 突然変異導入マウス作製による哺乳類ミトコンドリアゲノムの生理的役割の全貌解明 | 研究代表者 (所属・職) | 林 純一（筑波大学・大学院生命環境科学研究科・教授） |

【平成22年度 研究進捗評価結果】

| 評価 | 評価基準 |
|---|--|
| A+ | 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる |
| A | 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる |
| ○ | B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である |
| C | 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である |
| <p>(意見等)</p> <p>本研究の目的に、「mtDNAの生理的役割の全貌解明」とあり、さらに、複数の突然変異 mtDNA が検出されていると報告されている。この突然変異 mtDNA が複数特定されているにもかかわらず、現時点では癌転移に関連するミトマウスが樹立されているだけである。少なくとも mtDNA 異常の関与が疑われる脳や筋肉疾患、代謝疾患あるいは加齢との関連もミトマウスで検証すべきと考える。そのためには、複数のミトマウス系統の早急な樹立を期待する。病態の評価には、病態毎の評価システムが必要となろう。現時点では、一つの病態にこだわり過ぎることによる本来の目的達成への影響が懸念される。</p> | |